

英語活動指導案

1 単元名 自分的一天を紹介しよう（全5時間）〔英語ノート2 Lesson7〕

2 単元の考察

(1) 児童の実態（略）

(2) 教材観

児童はこれまでの英語活動において、簡単な数や色、動物やスポーツ、食べ物など身近な物の名前を表す単語を使って、感情を表現したり事実に関する情報を伝えたりする活動を、ゲームや身近な場面設定の中で体験を通して行ってきた。さらに6年生では「行ってみたい国を紹介しよう」の単元で **want to** ～ の表現を使って、相手の思いを尋ねたり自分の思いを伝えたりする活動を行ってきている。本単元では、時刻と行動の表現を使って、自分の一日の生活を紹介し合う活動を通し、自分の生活と比べながら、興味をもって相手の言う英語を聞いたり、自分のことを伝えたりしながら、伝え合うことのよさをさらに実感し、コミュニケーションへの積極性を高めていくことをねらいとしている。

児童は毎日、時間を基準に日常生活を送っている。学校では、校時表にあわせ、同じ時刻に同じような生活を過ごしている。このような生活を送っていると、皆が同じ生活を送っているような感覚になるが、家では各家庭それぞれの生活スタイルがあり、個々が違った生活を送っている。そこに目を向ける機会として、本単元では自分の一日の生活を紹介し合う活動を行う。自分との違いを認め、友達の新しい一面を知ること、互いに理解を深め、伝え合う楽しさやよさを実感できるのではないかと考える。また、他国との時差を扱うことで、国や地域によって時刻やそれに伴う動作も異なっているという多面的な見方ができ、世界の文化に興味や関心をもちながら、自分の生活を振り返ることができると思う。

このように、本単元において一日の生活を紹介し合うことは、日常生活に深いかかわりのある時刻や動作の表現に慣れ親しむとともに、興味をもって相手の生活の様子を聞こうとしたり、自分のことを伝えようとしながら、楽しみながら人とかかわろうとすることができると思う。そのため、本題材は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度をはぐくむのに適した題材であると思う。

3 指導・支援の方針

- ・活動に興味をもち、英語の音声や表現を繰り返し聞き、慣れ親しんだ表現を使って、思いを伝え合うことができるように、「わくわく聞いてTRY！」活動を「慣れる」「深める」「広げる」の3つの過程に段階的に取り入れる。
- ・楽しみながら、じっくり音声を聞こうとするために、英語を聞き比べたり、聞いた音声をもとに反応する「わくわく聞いてTRY！」活動①を「慣れる」過程に位置付ける。具体的な活動内容として、音声を聞き反応する身体動作や、音声を聞いて言葉の違いに気付いたり、考えながら答えを求めたりするクイズを行う。
- ・聞き取った英語を使って、言いたいことを伝えようとするために、聞いたり伝えたりしながら情報をやりとりする「わくわく聞いてTRY！」活動②を「深める」過程に位置付ける。具体的な活動内容として、表現を繰り返し使い、言い慣れるゲームや製作を取り入れた活動を行う。
- ・思いを伝え合うことの楽しさや喜びを実感し、進んで人とかかわろうとするために、言い慣れた英

語を選んで使い、互いを認め合いながら思いを伝え合う「わくわく聞いてTRY！」活動③を「深める」過程に位置付ける。具体的な活動内容として、具体物を提示しながら自分の思いを伝える発表活動や、友達の発表をもとに協力しながら互いの理解を深める交流活動を行う。

- 英語やその他の手段を使って聞いたり話したりすることができるように、教師は、表情や身ぶり・手ぶりを加えながら、ALT とデモンストレーションをしたり、児童と一緒に活動にかかわったりする。また、一人一人が達成感をもって活動に取り組むことができるように、英語に対して不安を感じている児童には、一緒に活動したり、励ましや賞賛の言葉をかけたりしながら、達成感が味わえるようにする。
- 音声の特徴やリズムの面白さに気付くことができるように、音声面を中心に ALT を効果的に活用する。また、聞いた英語から意味が推測できるように、教師とALTとのデモンストレーションを繰り返し提示する。
- 自信をもって発話したり、自分から友達に声をかけて活動に取り組めることができるように、お互いに認め合う場や、賞賛の声かけを行う機会を設け、「できた」「受け入れてもらえた」という喜びを味わえるようにする。
- 自分自身の活動を振り返り、本時の取組を確認するとともに、自分なりのめあてをもって次時の活動に取り組むことができるように、1時間の活動の最後に振り返りカードを活用する。教師は、児童が記入したものに、励ましや賞賛の言葉を入れて返し、次時の活動の意欲へとつなげる。

4 単元の目標及び評価規準

目標	動作と時刻の表現に触れながら、友達の一日の様子について聞き取ったり、自分の一日を紹介したりする。	
	評価の観点	単元の評価規準
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	一日の生活を紹介し合う活動を通し、相手の言うことを聞き取ったり、自分の思いを伝えたりしながら、進んで人とかかわろうとしている。
	外国語への慣れ親しみ	一日の生活を紹介し合うために、時刻や動作の表現を聞いたり使ったりする。
	言語や文化に関する気付き	時差があることを知るとともに、動作や時刻を表す表現の音声やリズムの特徴に気付いている。

5 単元の活動計画

●は、具体的な「わくわく聞いてTRY！」活動

進	時	ねらい	主な学習活動	支援・指導上の留意点	(評価項目)(評価方法)
慣	1	時刻の表現をじっくり聞く活動を通し、音声やリズムの特徴をとらえるとともに、世界には時差があることに気付く。	<ul style="list-style-type: none"> ●「何時かな？ジェスチャー・クイズ」をする。 ○世界の国々の時刻を聞き取る。 ●「聞いた時刻はどこの国？クイズ」をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○聞いた時刻を確認するように、視覚教材を活用する。また、時刻の表現のリズムを感じながら聞くように、身体動作を取り入れる。 ○楽しく聞く活動に取り組めるように、時差の一覧表を基に、聞いた時刻がどこの国かをグループで探すクイズを取り入れる。 	【言語や文化に関する気付き】時刻の表現の特徴や世界の時差に気付いている。(行動観察・振り返りカード)

	2	<p>児童に身近な人の一日の生活の様子をじっくり聞く活動を通し、動作や時刻の表現を聞き取る。</p>	<p>●「記憶をたどって世界の時刻クイズ」をする。</p> <p>○動作の表現を聞き、意味を確認する。</p> <p>●「先生の生活あてっこクイズ」をする。</p>	<p>○じっくり時刻の表現を聞き、聞き取れた喜びが活動の意欲につながるように、聞いた時刻の記憶を基に時差を確認するカードクイズを取り入れる。</p> <p>○興味をもってじっくり聞くことがきるように、児童に身近な人の動作時刻（起床、朝食、入浴、就寝）をそれぞれ予想し、1日の行動を聞き取る活動を取り入れる。</p>	<p>【外国語への慣れ親しみ】</p> <p>動作や時刻の表現を繰り返し聞くことで、内容を聞き取ろうとしている。（行動観察・振り返りカード）</p>
深 め	3	<p>ゲームやクイズを通し、動作や時刻の表現を繰り返し使いながら、言い慣れる。</p>	<p>●「インスピレーション・ゲーム」をする。</p> <p>○動作と時刻の表現を聞き、一日の生活についての表現方法を理解する。</p> <p>●「神経衰弱（動作と時刻）」をする。</p>	<p>○動作の表現を声に出して言い慣れるように、動作絵カードを基に繰り返し表現を使うゲームを取り入れる。</p> <p>○動作や時刻の表現を繰り返し使い、言い慣れるように、動作絵カードと時刻カードを組み合わせ、表現する活動を取り入れる。</p>	<p>【外国語への慣れ親しみ】</p> <p>相手を意識しながら動作や時刻の表現を繰り返し言うことで、表現に慣れている。（行動観察・振り返りカード）</p>
	4	<p>動作や時刻の表現を使いながら、やりとりする活動を通し、自分の一日の生活表を作る。</p>	<p>○「My Daily Routine」のチャンツをする。</p> <p>●「自分の一日すごろく」をする。</p> <p>●「必要な動作絵カードを集めよう！」をする。</p>	<p>○動作や時刻の表現を選び、自分の言いたい表現を繰り返し使うゲーム活動を取り入れる。</p> <p>○自分に必要な動作絵カードを児童同士でやりとりしながら集め、「一日の生活表」を作成する活動を取り入れる。</p>	<p>【外国語への慣れ親しみ】</p> <p>生活表を作成するために、必要な動作の表現をやりとりをしながら使っている。（行動観察・振り返りカード）</p>
広 げ る	5	<p>自分の一日の生活の様子を発表し合う活動を通し、表現に慣れ親しむとともに、進んで人とかかわり合いながら、互いの理解を深める。</p>	<p>○「My Daily Routine」のチャンツをする。</p> <p>●「自分の一日を発表しよう！」をする。</p> <p>●「だれの一日のことを言っているのかな？クイズ」をする。</p>	<p>○相手を意識しながら伝えたいことを言ったり相手の言っていることをしっかり聞いたりしながら、互いを認め合えるように、自分の一日を紹介する発表活動を取り入れる。また、思いを伝え合うよさをさらに実感できるように、メッセージカードを使って発表の感想を伝え合う活動を取り入れる。</p> <p>○グループごとに、集めた情報を基に話し合いながら、互いの理解をより深めていけるように、協力学習を中心とした交流活動を取り入れる。</p>	<p>【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】</p> <p>友達の一日の様子を聞いたり、自分の生活を伝え合ったりしながら互いを理解し、進んで人とかかわろうとしている。（行動観察・振り返りカード）</p>

第 1 時の活動

(1) 本時のねらい

時刻の表現をじっくり聞く活動を通し、音声やリズムの特徴をとらえるとともに、世界には時差があることに気付く。

(2) 使用表現

What time is it? It's ~ . one ~ sixty

(3) 準備

パワーポイント、電子黒板、地球儀、世界地図、国旗絵カード、時計絵カード、キーボード、教授用時計、ワークシート、簡易ホワイトボード、振り返りカード

(4) 展開 ※網掛けは「わくわく聞いてTRY！」活動①

学 習 活 動 ◇使用表現	時 間	支援及び指導上の留意点		評価項目 (評価方法)
		教師	ALT	
<p>[Greeting]</p> <p>1. 教師や ALT、友達とあいさつをする。</p> <p>◇ Good morning.</p> <p>◇ How are you ?</p> <p>◇ I'm ~ .</p>	3	<p>Good morning.</p> <p>How are you ?</p> <p>I'm happy.</p> <p>教師と ALT でそれぞれあいさつを交わし、二人の気分を児童に紹介しながら、あいさつの仕方を提示する。</p> <p>児童全体に声をかけ、英語学習の雰囲気を高める。</p>	<p>Good morning.</p> <p>How are you ?</p> <p>I'm hungry.</p>	
<p>[Practice]</p> <p>2. 「何時かな？ジェスチャー・クイズ」をする。</p> <p>時刻の表現を確認する。</p> <p>◇ What time is it ?</p> <p>◇ It's ~ .</p>	12	<p>時刻の表現のリズムを感じながら聞き取れるように、拍をとりながら What time is it ? と ALT に尋ねる。</p> <p>ALT が言った時刻をパワーポイントで提示し、聞き取った音声を視覚的に確認できるようにする。</p>	<p>拍に合わせて、テンポよく It's ~ . と答える。</p> <p>児童が慣れてきたら、いろいろな時刻の表現を聞き取れるように、表現を変えていく。</p>	
<p>教師 : What time is it ?</p> <p>ALT : It's ~ .</p> <p>教師 : パワーポイントで ALT が言った時刻を提示する。</p>				
<p>ALT が言った時刻を身体動作で表現する。</p>		<p>聞き取った時刻で楽しく身体動作できるように、児童の様子を見ながら、一緒に行う。</p>	<p>児童と一緒に身体動作をすることで、身体動作に恥ずかしさを感じる児童が抵抗なく表現できる雰囲気をつくる。</p>	
<p>「何時かな？ジェスチャー・クイズ」 ※拍に合わせて行う。</p> <p>① 教師 : What time is it ?</p> <p>② ALT : It's ~ .</p> <p>③ 児童 : ALT が言った時刻を身体動作する。</p> <p>④ 児童 : パワーポイントに映し出された正解の時刻を確認する。</p>				
<p>[Presentation]</p> <p>3. デモンストレーションを見ながら、会話の内容を予想する。</p>	2	<p>“at night” “Night?” などの言葉を強調し、昼夜が逆の時刻があることに気付くようにする。</p>	<p>ALT の国の時刻を話題にし、家族はこれから就寝することを知らせる。</p>	
<p>教師 : Look at the clock. It's 11:00 now.</p> <p>ALT : Yeah, I study English.</p> <p>教師 : What time is it in your country ?</p> <p>ALT : Mm..., it's 9:00 at night.</p> <p>教師 : Night ? Wow !</p> <p>ALT : My family go to bed. Good night.</p>				
<p>4. 世界の各都市が何時なのか、ALT が言う英語をじっくり聞き</p>		<p>時刻を尋ねる表現や意味を確認できるように、2回</p>	<p>昼夜の違いをとらえられるように “at night” “in</p>	

<p>取る。 時刻を聞き、ワークシートの時計に長針や短針を書き入れる。</p>	<p>8</p> <p>ずつゆっくりと ALT に尋ねる。</p> <p>児童が目的をもってじっくりと聞くように、1回目はどこの国のことを尋ねているのか、2回目は何時なのか時刻の表現を中心に聞き取るように指示する。</p> <p>世界の国々の時刻視覚的に確認できるように黒板に拡大地図や国旗、時計などの絵カードを提示する。</p> <p>動作の表現については、おおよその音声や意味をとらえ、次時の活動につながるようにする。</p>	<p>the morning”などを語尾に付け、時差の理解を助ける。</p>
<p>教師：What time is it in ～ (世界の各都市※) ? ※ Japan / Russia / Australia / Brazil ALT：It's ～ (時刻). I ～ (動作※) at ～ (時刻) .</p>		
<p>〔Main activity〕 5. 「聞いた時刻はどこの国？クイズ」をする。(ワークシート有) 日本の時刻を基準とした時差の一覧表をもとに、ALT が言った時刻の国を探す。 ◇ What time is it ? ◇ It's ～ .</p>	<p>15</p> <p>集中して時刻の表現を聞くように、聞いた時刻をもとに、その国を探すクイズを取り入れる。 友達のよさに気付いたり、認め合ったりするように、グループで協力しながら国を探すように声をかける。</p>	<p>じっくり時刻の表現を聞き取るように、児童の反応を見て、言う速度を変えたり、繰り返す回数を増やしたりしながら、児童全員が楽しく取り組めるようにする。</p>
<p>〔Closing〕 6. 本時のまとめをする。 振り返りカードに自己評価と感想を記入する。(単元を通しての振り返りカード有)</p>	<p>5</p> <p>達成感や成就感を味わったり、次時のめあてをもったりできるように、頑張ったり取り組んだ点を賞賛したり、助言や励ましの言葉をかけたりする。</p>	<p>児童が本時の活動を振り返り、「できた」「頑張った」という思いを実感するように、英語で賞賛の言葉をかける。</p>

【言語文化に関する気づき】
時刻の表現の特徴や世界の時差に気付いている。(備
観察・振り返りカード)

(5) 本時の「わくわく聞いてTRY！」活動①

何時かな？ジェスチャー・クイズ

～「わくわく聞いてTRY！」活動①～

ねらい : 聞いた時刻を身体動作で繰り返し表現することにより、時刻の表現のリズムに慣れたり、何時か聞き取ったりする。

言語材料 : What time is it? It's ～.

準備 : 電子黒板、時刻のパワーポイント 

形態 : 1人→2人

手順 : (1) リズムに合わせてHRTがALTに“What time is it?”と尋ねる。
(2) リズムに合わせてALTが“It's ～.”と答える
(3) ALTが英語で言った時刻を、HRTの“1・2・3・Go”のかけ声に合わせて児童が両腕で表現する。
(4) ALTが英語で言った時刻をHRTがパワーポイントで提示する。

指導のポイント

最初はゆっくりのテンポで始め、徐々にテンポを速くする。「〇時」の表現から始め、慣れてきたら「〇時〇分の表現へとチャレンジするようにする。
また、楽しく活動に取り組めるように、友達と合い向かいになるなど身体動作に変化をつける。

聞いた時刻はどこの国？クイズ

～「わくわく聞いてTRY！」活動①～

ねらい : 各国の時差の一覧表をもとに、聞いた時刻から、その時刻の国を予想することにより、世界には時差があることに気付く。

言語材料 : What time is it? It's ～.

準備 : 世界地図、国旗カード、時計絵カード
各国の時差一覧表、ホワイトボード

形態 : グループ 

手順 : (1) 現在の日本の時刻を確認する。
(2) HRTがALTに“What time is it?”と尋ねる。
(3) ALTが“It's ～.”と答える。
(4) 現在の日本の時刻をもとに、各国の時差の一覧表を見ながら、ALTが英語で言った時刻の国をグループで協力しながら予想する。
(5) 予想した国をホワイトボードに書き、グループごとに予想した国を発表する。
(6) ALTが正解の国名を言う。 
(7) (2)～(6)を繰り返す。

指導のポイント

現在の日本の時刻をもとに他の国の時刻を考えることにより、時差をより身近なものとしてとらえるようにする。時差への興味や関心を高めるため、地球儀を用いるとよい。

第2時の活動

(1) 本時のねらい

児童に身近な人の一日の生活の様子をじっくり聞く活動を通し、動作や時刻の表現を聞き取ろうとする。

(2) 使用表現

get up, eat breakfast, take a bath, go to bed

What time is it ? It's ~ in ~ (世界の国名).

What time do you ~ (動作) ? I ~ (動作) at ~ (時刻).

(3) 準備

世界地図、世界地図ワークシート、時刻カード、電子黒板、簡易ホワイトボード、身近な人に生活の様子をインタビューしたビデオ、振り返りカード

(4) 展開

※網掛けは「わくわく聞いてTRY！」活動①

学習活動 ◇使用表現	時間	支援及び指導上の留意点		評価項目 (評価方法)
		教師	ALT	
[Greeting] 1. 教師やALT、友達とあいさつをする。 ◇ Good morning. ◇ How are you ? ◇ I'm ~ .	3	Good morning. How are you? I'm hungry. など 児童とあいさつを交わしながら学習の雰囲気高め る。	Good morning. How are you? I'm sleepy. など	
[Review] 2. 「記憶をたどって世界の時刻クイズ」をする。	15	クイズの説明をし、1回目は国名、2回目は時刻を中心に、目的をもって聞くよう指示をする。	集中してじっくり聞くように、児童の様子を見ながらゆっくり繰り返して言う。	
「記憶をたどって世界の時刻クイズ」 ① 時刻カード12枚を机の上に並べる。 ② 日本の時刻を黒板に提示する。“It's ~ in Japan.” ③ 児童全員で“What time is it?”とALTに尋ねる。 ④ ALTが“It's ~ in ~.”と答える。 ⑤ ②と③を繰り返す(記憶する時刻を1つから2つに増やすなど活動に変化を付ける)。 ⑥ ALTが言った時刻カードを選び、ワークシートに描かれた地図上の国の首都に置く。				
[Practice] 3. 動作の表現を確認する。 ALTが言う動作の表現を聞き、意味を確認する。 ◇ get up, eat breakfast take a bath, go to bed	5	聞いた表現の意味を推測できるように、ALTが言う動作の表現に合わせてジェスチャーをする。 全体で意味を確認した後、ALTが言った表現をじっくり聞き、自分なりのジェスチャーで表現するよ	児童にとっては、初めて聞く表現が多いので、児童の様子を見ながら、必要に応じて繰り返し言うようにする。	

		うに伝える。	
〔Main activity〕 4. 「先生の生活あてっこクイズ」 をする。(ワークシート有)	17	教師も児童と同じように生活していることを実感できるように、児童にとって身近な教員の生活を紹介する。 グループで協力して話し合う活動を取り入れることにより、自分の意見が認められる嬉しさや友達の考えのよさに気付けるようにする。	〔外国語への慣れ親しみ〕 動作や時刻の表現を繰り返すことにより、内容を聞き取ろうとしている。(行動観察・振り返りカード)
<p>児童にとって身近な教師3人それぞれの動作時刻をグループで予想し、早い順に3人を並び替える。ビデオを見ながら、教師が答える動作や時刻の表現をじっくり聞き、順位を確認する。</p> <p>Q1 起床 Q2 朝食 Q3 入浴 Q4 就寝</p> <p>Q4は、もう一人教員を増やし、4人の中から就寝時刻の早い順に3人を選び、並び替える。</p> <p>Q1:I get up at ~ . Q2:I eat breakfast at ~ . Q3:I take a bath at ~ . Q4:I go to bed at ~ .</p>			
		聞き取りにくい表現がある場合は、表現を繰り返すようにする。	
〔Closing〕 5. 本時のまとめをする。 振り返りカードに自己評価と感想を記入する。(単元を通しての振り返りカード有)	5	友達と協力して活動に取り組むことで、互いのよさに気付いたり、次時のめあてをもったりできるよう、頑張った点を賞賛したり、助言や励ましの言葉をかけたりする。	児童が本時の活動を振り返り、「できた」「頑張った」という思いを実感できるように、英語で賞賛の言葉をかける。

(5) 本時の「わくわく聞いてTRY！」活動①

記憶をたどって世界の時刻クイズ

～「わくわく聞いてTRY！」活動①～

ねらい : 世界の国名とその国の時刻を繰り返し聞くことにより、時刻の表現を聞き取るとともに、時差についての理解を深める。

言語材料 : What time is it? It's ~.

準備 : 世界地図、時計絵カード (12枚)

形態 : 1人

手順 : (1) 現在の日本の時刻を確認する。
(2) HRTが“What time is it in ~.”とALTに尋ねる。
(3) ALTが“It's ~.”と答える。
(4) (2) (3)のやりとりを聞いて、世界地図に記された国の首都上に時計絵カードを置く。
(5) (2)～(4)を繰り返す。

指導のポイント
HRTとALTは(2)(3)を2回ずつ繰り返し言い、1回目は国名を、2回目は時刻を中心に聞き取るよう児童に指示をする。初めは1カ国をのみの聞き取りを行うが、慣れてきたら、2カ国、3カ国と同時に聞き取る数を増やし、集中して聞くようにする。

先生の生活あてっこクイズ

～「わくわく聞いてTRY！」活動①～

ねらい : 児童に身近な人の一日の生活の様子を注意深く聞くことにより、動作と時刻を結び付けた表現の内容を聞き取ろうとする

言語材料 : What time do you ~? I ~ at ~.

準備 : 電子黒板、ホワイトボード
身近な人に生活の様子をインタビューしたビデオ

形態 : グループ

手順 : (1) 3人の教員の起床時刻の早い順にグループごとに予想し、名前をホワイトボードに書く。
(2) HRTがそれぞれの教員に起床時刻をインタビューしたビデオから、児童はそれぞれの教員が答えた起床時刻をじっくりと聞き取り、予想した内容と合っていたかどうかを確かめる。
(3) 朝食の時刻、入浴の時刻について(1)(2)を繰り返す。
(4) 就寝時刻については、教員をさらに1人加え、4人の中から3人を選び、時刻の早い順を予想する。

指導のポイント
最後まで目的意識をもって、集中して聞かせるために、ただ、教員の動作時刻を聞き取らせるのではなく、動作する時刻の早い順を予想させてから聞くようにする。

第3時の活動

- (1) 本時のねらい
ゲームやクイズを通し、動作や時刻の表現を繰り返し使いながら言い慣れる。
- (2) 使用表現
get up, eat breakfast, take a bath, go to bed
I ~ (動作) at ~ (時刻).
- (3) 準備
動作絵カード、時刻カード、CDデッキ、振り返りカード

(4) 展開 ※網掛けは「わくわく聞いてTRY！」活動②

学習活動 ◇使用表現	時間	支援及び指導上の留意点		評価項目 (評価方法)
		教師	ALT	
[Greeting] 1. 教師やALTとあいさつを交わした後、♪Happy birthday to you♪のメロディーに合わせて、友達とあいさつの歌を歌う。 ♪A: Hello, how are you? B: I'm fine, thank you. B: Hello, how are you? A: I'm fine, thank you.	5	Good morning. How are you? I'm fine. など 教師とALTでそれぞれあいさつを交わし、二人の気分を児童に紹介しながら、あいさつの仕方を提示する。 A役、B役になり、♪Happy birthday to you♪のメロディーに合わせてあいさつをし、歌を紹介しながら一緒に歌う。	Good morning. How are you? I'm happy. など	
[Review] 2. 「インスピレーション・ゲーム」をする。 ◇get up, eat breakfast take a bath, go to bed	15	4つの動作の表現や意味を確認するために、ALTの言う表現にジェスチャーを加えながら表現を言うようにする。その後、それぞれの動作絵カードを提示しながら、再度確認させ、表現に言い慣れるようにする。	ゆっくりと発音し、必要に応じて繰り返し言う。 教師が動作絵カードを変え、タイミングに合わせて動作の表現を言う。	
「インスピレーション・ゲーム」 ①ペアになり、4つの動作絵カードの中から1つを決める。 ②ALTの“What do you do?”のかけ声に合わせて、“I ~ .”と言いながら、選んだ1つの動作絵カードをお互いに出す。 ③何回目でも全部のカードがなくなるか、各ペアで競う。 ④慣れてきたら、3人、4人とグループの人数を増やす。				
[Presentation] 3. デモンストレーションを見ながら、会話の内容を聞く。	5	就寝時刻と起床時刻を例に挙げ、動作と時刻を結びつけた表現をデモンストレーションで示す。 時刻の表現を強調するために、“at ~”を復唱する。		
教師：大きなあくびをする。 ALT：Are you sleepy? 教師：Yes, I'm very sleepy. ALT：Why? 教師：I go to bed at 12:00. ALT：Wow, at 12:00? 教師：This morning, I get up at 5:00. ALT：At 5:00? Really? 教師：Yes. So, I'm very sleepy.				
◇What time do you ~? I ~ at ~.		数名の児童に動作の時刻を尋ね、答えた時刻を“at ~”と復唱する。	児童が答えた時刻を動作と結びつけた表現で言う。 “I ~ at ~.	

<p>〔Main activity〕</p> <p>4. 「神経衰弱（動作と時刻）」をする。</p> <p>◇ get up, eat breakfast take a bath, go to bed</p>	15	<p>ゲームのやり方をデモンストレーションで示す。児童の理解が不十分な場合は、必要に応じて繰り返してやってみせる。相手の動作絵カードと時刻カードがそろった場合は、“good” “wonderful”などの言葉かけをし、相手を賞賛することの大切さに気付くようにする。</p>	<p>〔外国語への慣れ親しみ〕</p> <p>相手を意識しながら動作や時刻の表現を繰り返し言うことで、表現に慣れている。（行動観察・振り返りカード）</p>
<p>「神経衰弱（動作と時刻）」</p> <p>① 4人1グループになる。</p> <p>② 1人4枚ずつカードを配り、それぞれのカードに自分の起床・朝食・入浴・就寝時刻を書き入れる。</p> <p>③ 集まった16枚のカードを裏返しにして机の上にバラバラに置く。</p> <p>④ 動作絵カードの山から一番上のカードをめくり、表現を言いながら、その行動にあった自分の時刻カードを神経衰弱の要領で探す。</p> <p>⑤ 動作と時刻が合ったらカードをもらう。</p> <p>⑥ ゲーム終了後、得点を数える。</p> <p>・時刻カード……各1点 ・動作絵カード……各1点（ただし、朝食絵カードは2点）</p>		<p>表現にとまどっている児童がいる場合には、どんなふうに分かったらよいか、児童と一緒に表現を言い、安心して活動できるようにする。</p> <p>動作絵カードをめくった際、すでに自分の時刻カードと一致してしまった動作絵の場合は、もう一枚新しいカードをめくるよう指示する。</p> <p>集めたカードの枚数で競うが、動作絵カード別に得点を変え、枚数が少なくても勝つ機会がもてるようにする。</p>	
<p>〔Closing〕</p> <p>5. 本時のまとめをする。</p> <p>振り返りカードに自己評価と感想を記入する。（単元を通しての振り返りカード有）</p>	5	<p>友達と協力して活動に取り組むことで、互いのよさに気付いたり、次時のめあてをもったりできるよう、頑張って取り組んだ点を賞賛したり、助言や励ましの言葉をかけたりする。</p>	<p>児童が本時の活動を振り返り、「できた」「頑張った」という思いを実感できるように、英語で賞賛の言葉をかける。</p>

(5) 本時の「わくわく聞いてTRY！」活動②

インスピレーション・ゲーム
～「わくわく聞いてTRY！」活動②～

ねらい : 動作の表現を繰り返し使い、言い慣れる。

言語材料 : get up, eat breakfast, take a bath, go to bed

準備 : 4つの動作絵カード（児童の人数分）

形態 : 2人～4人

手順 : (1) 4枚の動作絵カードの中から1枚を選ぶ。

(2) ALTの“What do you do?”のかけ声に合わせて、選んだカードの動作を言いながら、お互いにカードを出し合う。

(3) カードが一致したら、そのカードは机の上に置き、残りのカードの中を出し合う。

指導のポイント

お互いに、何のカードを出すか、相手の表情をよく見たり、相手の気持ちを考えたりしながら、カードを出すようにし、カードが一致したときの喜びを共に味わえるようにする。人数を2人組から3人組……と人数を増やすことにより、仲間意識を高めるようにする。

神経衰弱（動作と時刻）
～「わくわく聞いてTRY！」活動②～

ねらい : 動作や時刻の表現を使って、自分の一日の生活（起床、朝食、入浴、就寝）を言うことに慣れる。

言語材料 : I get up at ～. I eat breakfast at ～.
I take a bath at ～. I go to bed at ～.

準備 : 4つの動作絵カード（児童の人数分）
それぞれの動作を行う時刻を書いたカード

形態 : 4人グループ

手順 : (1) あらかじめ、児童は、4枚のカードに4つの動作を行う時刻をそれぞれ記入しておく。

(2) 中央に裏返した動作絵カード、その周りに、児童がそれぞれの動作の時刻を記入したカードをバラバラに裏返して置く。

(3) 中央の動作絵カードを一枚めくり、その動作に合う自分の時刻のカードを探しながら、動作や時刻の表現を使って、一日の生活を言う。

(4) 次の児童から順番に(3)を繰り返す。

指導のポイント

早く、4種類の動作とその時刻が合うように、自分の時刻カードがどの位置にあるか記憶しておくように声をかける。ペアになった動作絵カードを再度引いた場合は、次の動作絵カードをめくってゲームを続けるようにする。

第4時の活動

- (1) 本時のねらい
動作や時刻の表現を使いながら、やりとりする活動を通し、自分の一日の生活表を作る。
- (2) 使用表現
get up, eat breakfast, take a bath, go to bed など
～(動作) card, please.
- (3) 準備
電子黒板、英語ノート2 (デジタル版)、動作絵カード、さいころ、おはじき、探検バッグ
一日の生活表、振り返りカード
- (4) 展開 ※網掛けは「わくわく聞いてTRY!」活動②

学習活動 ◇使用表現	時間	支援及び指導上の留意点		評価項目 (評価方法)
		教師	ALT	
[Greeting] 1. 教師やALTとあいさつをする。	2	Good morning. How are you? I'm fine. など 児童にあいさつの言葉をかけ、学習の雰囲気をつくる。	Good morning. How are you? I'm happy. など	
[Review] 2. ♪ My Daily Routine ♪のチャンツで動作の表現を確認する。	3	電子黒板を使い、リズムに合わせて、楽しく動作の表現に触れることができるようにする。	児童の中に入り、一緒に楽しくチャンツをしながら、雰囲気を和ませる。	
[Practice] 3. 「自分の一日すごろく」をする。 ◇ get up, eat breakfast take a bath, go to bed ◇ その他の動作表現 eat lunch, eat dinner play baseball play basketball play volleyball play tennis, play a game play the piano play with my brother go shopping study, swim watch TV, read a book	15	事前にまとめた一日の生活表をもとに、自分で言いたい動作の表現に興味をもてるようにする。 教師側から他の動作の表現を提示するのではなく、「どんな表現をするのだろう」「知りたい」という気持ちを児童から引き出しながら、表現を確認できるようにする。 動作の表現を「play～」「eat～」「go～」「一語の動詞」「その他の表現」に分類しながら提示する。	児童から出てきた4つの動作以外の表現について、紹介する。 表現のリズムがつかめるように、分類された動作の表現をテンポよく言う。	
「自分の一日すごろく」 ① 4人1グループになる。 ② 4つの動作×2セット(その中に、2コ進む、2コ戻る、ふりだしに戻るカードを兼ねるものを入れる)、Freeカード6枚、チャレンジカード6枚の計20枚をグループで相談しながら、並べる順番やコースを自由に決める。 ③ すごろくをしながら、止まったところのカードの内容について、自分の生活を表現する。 ・動作絵カード→それぞれの動作と時刻について表現する。 ・Freeカード→4つの動作の中から1つを選び、時刻に合わせて表現する。 ・チャレンジカード→4つの動作以外で自分の言いたい動作の表現にチャレンジし、言えたら2つ進む。(4つの行動でもよい。)		表現にとまどっている児童には、声をかけて一緒に言うことで、安心して活動に取り組めるようにする。 相手の言うことを最後まで聞いたり、最後までしっかり言ったりするよう声をかける。		
[Main activity] 4. 「必要な動作絵カードを集めよう!」をする。(ワークシート有) ○動作絵カードを渡す役ともらう役に分かれる。 ○動作の表現を5つに分類し、それぞれを2～3人で担当しながら		教師の生活表を例に挙げながら、休日の自分の一日の生活表を作るよう説明をする。 一日の生活の中で、自分が表現したい動作を自由に選び、絵カードを集めるように指示をする。 少なくとも一人4つの動		[外国語への関心] 生活表を作成するために、必要な動作の表現をやりとりをしながら使っている。(行動観察・振り返りカード)

<p>ら、必要なカードをもらったり、渡したりする。</p> <p>(1) “play ~” コーナー (2) “eat ~” コーナー (3) “go ~” コーナー (4) “その他の表現” コーナー (5) “一語の動詞” コーナー</p> <p>○集めた動作絵カードを生活表に貼り、表を完成させる。</p>	<p>20</p> <p>作を生活表に取り入れるように指示をするが、それ以上取り入れてもよいことを知らせる。</p> <p>5つのコーナーを設け、やりとりをしながら一日の生活表作りに必要な動作絵カードを集めるようにする。</p> <p>やりとりのしかたをデモンストレーションで示す。その際、児童がコミュニケーションを図る上で、あいさつやお礼の言葉、身ぶりなどが大事であることに気付くように指示をする。</p> <p>カードを渡す役は、各コーナーごとに協力しながら相手に渡すように声をかける。</p> <p>児童の様子を見て、必要に応じて、表現と一緒に言ってあげながら、児童が必要なカードを集められるようにする。</p>	<p>活動する児童の中に入り、表現の分からない児童にアドバイスをしながら、児童が自信をもって活動できるようにする。</p>
<p>児童A : Excuse me, “play baseball” card, please. 児童B : Here you are. 児童A : Thank you. 児童B : You are welcome. 児童A and B : Good-bye.</p>		
	<p>集めたカードをワークシートに貼り、自分の生活表を完成するように声をかける。</p>	<p>完成した生活表を見て回り、よくできたことを認める言葉をかける。</p>
<p>〔Closing〕 5. 本時のまとめをする。 振り返りカードに自己評価と感想を記入する。(単元を通しての振り返りカード有)</p>	<p>5</p> <p>友達と協力して活動に取り組むことで、互いのよさに気付いたり、次時のめあてをもったりできるよう、頑張って取り組んだ点を賞賛したり、助言や励ましの言葉をかけたりする。</p>	<p>児童が本時の活動を振り返り、「できた」「頑張った」という思いを実感できるように、英語で賞賛の言葉をかける。</p>

(5) 本時の「わくわく聞いてTRY！」活動②

自分の一日すごろく

～「わくわく聞いてTRY！」活動②～

ねらい : 動作と時刻の表現を使い、言い慣れる。

言語材料 : I ~ (※動作) at ~ (時刻).
 ※ get up, eat breakfast, take a bath, go to bed
 play baseball, study, watch TV など

準備 : 動作絵カード (4種類×2枚)
 チャレンジカード (6枚)
 Freeカード (6枚) 計20枚 さいころ

形態 : グループ

手順 : (1) グループの中でコースや順番など自由に決めながら、20枚のカードを並べる。
 (2) すごろくをし、止まったカードの動作とその動作を行う時刻を表現する。
 (3) チャレンジカードは、下線部分の4つの動作の中から1つを選んで表現し、Freeカードは、自分の言いたい動作の表現とその時刻を言う。
 (4) (2)～(3)を繰り返す。

指導のポイント

動作絵カードの中に「2つ進む」「2つもどる」「ふりだしにもどる」などを取り入れて、すごろくを楽しみながら、自然と動作と時刻の表現を使い、言い慣れるようにする。

必要な動作絵カードを集めよう！

～「わくわく聞いてTRY！」活動②～

ねらい : 自分の言いたい動作の表現を使い、言い慣れる。

言語材料 : “ ~ card , please.” “Here you are”

準備 : 児童の希望する動作絵カード、探検バッグ

形態 : グループ

手順 : (1) クラスを2グループに分ける。一方はカードを渡すグループ、もう一方はカードをもらうグループになる。
 (2) 動作絵カードごとにコーナーを設ける。2、3人で1つのコーナーを担当し、1コーナーにつき、動作絵カードは3、4種類を扱う。
 (3) カードをもらうグループの児童は、自分の欲しい動作絵カードをやりとりしながら集める。
 (4) カードを渡すグループともらうグループを交代しやりとりを繰り返す。
 (5) 集めたカードを一日の生活表に貼る。

指導のポイント

児童がどんな一日の動作を紹介したいかそれぞれ事前にまとめておいたものを把握し、どんな動作絵カードを何枚用意したらよいか準備しておく。

第5時の活動

(1) 本時のねらい

自分の一日の生活の様子を発表し合う活動を通して、時刻や動作についての表現に慣れ親しむとともに、互いの理解を深めながら進んで人とかかわろうとする。

(2) 使用表現

get up, eat breakfast, take a bath, go to bed など

I ～ (動作) at ～ (時刻).

(3) 準備

電子黒板、英語ノート2 (デジタル版)、探検バッグ、一日の生活表、メッセージカード、振り返りカード

(4) 展開

※網掛けは「わくわく聞いてTRY！」活動③

学習活動 ◇使用表現	時間	支援及び指導上の留意点		評価項目 (評価方法)
		教師	ALT	
[Greeting] 1. 教師やALTとあいさつをする。	2	Good morning. How are you? I'm fine. など 児童にあいさつの言葉をかけ、学習の雰囲気をつくる。	Good morning. How are you? I'm happy. など	
[Review] 2. ♪ My Daily Routine ♪のチャンツで動作の表現を確認する。	3	電子黒板を使い、リズムに合わせて、楽しく動作の表現に触れることができるようにする。	児童の中に入り、一緒に楽しくチャンツをしながら、雰囲気が和むようにする。	
[Practice] 3. 「私は～時に～をします。」の表現を確認し、自分の生活表に書かれている内容をペアで合い向かいになり、やりとりをする。 ◇I ～ (動作) at ～ (時刻).	5	教師やALTの一日の生活表をもとに、発表の仕方をデモンストレーションする。デモンストレーションを見て、どんなところがよかったか、発表者の立場、聞く人の立場の両者から考えさせ、児童の中からよい発表の仕方やよい聞き方に気付けるようにする。 ペアで合い向かいになり、発表の仕方や聞き方のポイントに留意し、発表内容について繰り返しやりとりしながら、表現に慣れるようにする。	児童の様子を見て回り、必要に応じて、表現についての声かけやアドバイスをする。	
[Main activity] 4. 「自分の一日を発表しよう！」 をする。 一日の生活表を提示しながら、自分の1日について紹介をする。 ○発表児童は、動作や時刻の表現を使って、自分の1日を発表する。発表後、発表を終えての感想を書く。 ○発表を聞く児童は、発表する児童を見てしっかり聞く。メッセージカードに発表内容に関する感想や質問等を書き、読みながら発表児童に渡す。 ○全員の発表が終わったら、それぞれがもらったメッセージカー	15	前時に作成した一日の生活表をもとに、休日の様子を友達に紹介することを知らせる。 4人1グループで、発表児童を囲むようにアーチ型に座る発表形式をとる。 発表児童が休日の様子を発表する際、既習の表現や日本語を用いながら、自分の思いを伝えられるように声をかける。 発表を聞く児童は、友達が発表した内容について、質問や感想などをメッセージカードに書き、そのメッ	児童一人一人が自信をもって発表できるように、発表児童の様子を見て回り、表現にとまどっている児童がいる場合は、一緒に言っあげたり、声をかけたりする。 児童の発表を一緒に聞きながら、一人一人の頑張りや認めるよう、発表内容について、相づちをうったり、賞賛の声をかけたりする。	【コミュニケーションへの関心意欲】 友達の一日の様子を聞いたり、自分の生活を伝え合ったりしながら互いを理解し、進んで人とかかわろうとしている。(行動観察・振り返りカード)

		ページを伝えながら互いを認め合う、交流の場を設ける。	
5. 「だれの一日のことを言っているのかな?クイズ」をする。 ○グループの代表児童の生活を紹介します。児童を一人決め、生活の様子をクイズ形式で発表する。必要に応じて、ALT が紹介する。	15	いくつかのグループの代表児童の生活をクイズ形式で紹介する。他のグループの児童には、仲間と協力して誰の一日のことを言っているのか考え、グループごとに発表するように伝える。 他のグループの児童には、その子らしい特徴のある動作がないかどうか、ALT の紹介する内容をじっくり聞くように声をかける。	グループの代表児童の生活を紹介します。児童の様子を見ながら必要に応じて、表現の手本を示したり、児童と一緒に言ったりする。
[Closing] 6. 本時のまとめをする。 振り返りカードに自己評価と感想を記入し、代表児童は感想を発表する。(単元を通しての振り返りカード有)	5	友達と協力して活動に取り組むことで、互いのよさに気付いたり、人とかかわることのよさを感じたりすることができたか、取組を振り返る場を設ける。 数名の児童に感想を発表させ、クラス全体でその思いを共感できるようにする。	児童が本時の活動を振り返り、「できた」「頑張った」という思いを実感できるように、英語で賞賛の言葉をかける。

(5) 本時の「わくわく聞いてTRY！」活動③

自分の一日を発表しよう！ ～「わくわく聞いてTRY！」活動③～

ねらい : 生活表をもとに、慣れ親しんだ英語を使って自分の一日の生活を発表する。

言語材料 : I ～ (※動作) at ～ (時刻).
※ get up, eat breakfast, take a bath, go to bed, play baseball, study, watch TV など

準備 : 各自が作成した一日の生活表「My Daily Routine」、メッセージカード

形態 : 少人数グループ

手順 : (1) グループの中で一人ずつ生活表をもとに発表する。
(2) 発表した児童は発表を終えての感想、発表を聞いていた児童は、発表内容についての感想や質問をメッセージカードに書く。
(3) 発表を聞いていた児童は、メッセージカードの内容を読み上げながら、発表者に渡す。
(4) グループ全員の発表が終わるまで、(1)～(3)を繰り返す。

指導のポイント
発表前に、発表者と聞く人の立場からどのような点に注意して取り組めばいいか確認をする。その後、ペアで発表練習をしてから、グループで発表するように声をかける。

「だれの一日のことを言っているのかな?クイズ」 ～「わくわく聞いてTRY！」活動③～

ねらい : ある児童の一日の様子を英語で聞き、発表活動で知り得た情報を交換し合いながら、互いの理解を深める。

言語材料 : I ～ (※動作) at ～ (時刻).
※ get up, eat breakfast, take a bath, go to bed, play baseball, study, watch TV など

準備 : 児童数名の生活表

形態 : グループ

手順 : (1) 他の児童に知られないように、紹介する児童数名を選ぶ。
(2) ある児童の生活表をもとに、ALT が英語で紹介する。
(3) 聞いた英語をもとに、グループ内で情報を交換し合いながら、児童を特定する。
(4) (1)～(3)を繰り返す。

指導のポイント
言葉一つ一つを注意して聞くために、どのような言葉を聞いて児童を特定したのか、グループごとに発表し、学級全体で共通理解を図る。